

加齢歯科学

1 単位 5 年 (前期, 後期)

Aging and Geriatric Dentistry

市川 哲雄・教授 / 歯学科 歯科補綴学第一講座 (口腔顎顔面補綴学), 北村 清一郎・教授 / 歯学科 口腔解剖学第一講座 (口腔顎顔面形態学)

吉本 勝彦・教授 / 歯学科 歯科薬理学講座 (分子薬理学), 伊藤 博夫・教授 / 歯学科 予防歯科学講座 (予防歯学), 松尾 敬志・教授 / 歯学科 歯科保存学第一講座 (歯科保存学)

永田 俊彦・教授 / 歯学科 歯科保存学第二講座 (歯周歯内治療学), 北畑 洋・教授 / 歯学科 歯科麻酔学講座 (歯科麻酔科学), 羽田 勝・教授 / 口腔保健学科 口腔保健福祉学講座

日野出 大輔・教授 / 口腔保健学科 口腔保健基礎学講座, 永尾 寛・准教授 / 歯学科 歯科補綴学第一講座 (口腔顎顔面補綴学), 久保 吉廣・准教授 / 歯学科 歯科補綴学第二講座 (咬合管理学)

東 雅之・教授 / 歯学科 口腔外科学第一講座 (口腔内科学), 本釜 聖子・助教 / 歯学科 歯科補綴学第一講座 (口腔顎顔面補綴学), 横山 正明・助教 / 病院, 森戸 光彦・非常勤講師 / 鶴見大学

佐藤 修斎・非常勤講師 / 佐藤歯科医院, 七條 文雄・非常勤講師, 宇高 二良・非常勤講師 / 宇高耳鼻咽喉科医院

【授業目的】 高齢者の口腔管理, 歯科治療, 歯科関連リハビリテーションに必要な基礎的知識を学習する。

【授業概要】 ヒトの加齢変化を生物学的な見地, 心理・行動学の見地, 一般医学, および口腔医学の見地から理解するとともに, 高齢者の口腔管理, 歯科治療, 歯科関連リハビリテーションの概要と重要性を認識する。

【授業形式】 講義

【授業方法】 講義型式 ビデオ, スライドを適宜用いる。

【授業場所】 (前期) 第 1 講義室 (後期) 第 2 講義室

【授業テーマ】 加齢学と高齢者歯科医療

【履修上の注意】 加齢歯科学の授業では第 1 回目の授業で全講義の内容, キーワードを提示する。①受講者は毎回受講前に, 講義内容, キーワードについて事前に予習して理解した内容を簡潔にまとめること。②受講者は毎回受講後に, 学習成果を基に講義内容, キーワードについて再度内容を簡潔にまとめ, 予習時の内容と比較して学習の成果を確認すること。③試験は全講義数の 2/3 以上の出席を満たしている者に対して行う。④予習, 復習をすることが出席評価に含まれる。

【到達目標】 (<> 内はコアカリ対応)

1. 高齢者のおかれた社会環境を説明できる。 <C-2-(2)-5>
2. ライフステージにおける予防を説明できる。 <C-3-(2)-3>
3. 集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健, 学校歯科保健, 産業歯科保健) を説明できる。 <C-3-(2)-4>
4. 主な保健医療統計 (人口動態・静態統計, 患者調査, 医療施設調査, 医師・歯科医師・薬剤師調査, 歯科疾患実態調査, 学校保健統計調査) を説明できる。 <C-4-(2)-1>
5. 口腔組織の加齢変化を説明できる。 <D-2-(4)-1>
6. 適切な食事指導 (栄養指導) を実施できる。 <F-1-(6)-2)-4>

7. 嚥下障害を概説できる。 <F-2-(5)-8)-2>
8. 言語障害を概説できる。 <F-2-(5)-8)-3>
9. 味覚障害を概説できる。 <F-2-(5)-8)-4>
10. 老化の身体的, 精神的及び心理的特徴を説明できる。 <F-2-(6)-2)-1>
11. 高齢者における薬物動態の特長を説明できる。 <F-2-(6)-2)-1>
12. 老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。 <F-2-(6)-2)-2>
13. 高齢者の歯科治療の概要を説明できる。 <F-2-(6)-2)-2>
14. 高齢者に多く見られる疾患を説明できる。 <F-2-(6)-2)-3>

【授業計画】

大項目	中項目	内容	到達目標	担当	
1.	高齢者と加齢歯科学	加齢歯科学概論 (その 1)	加齢歯科学の目的, 死の概念・定義, 口腔と全身, 高齢者の身体的特徴	1,5,10,12,13,14	森戸
2.	〃	加齢歯科学概論 (その 2)	〃	1,5,10,12,13,14	〃
3.	〃	加齢歯科学概論 (その 3)	〃	1,5,10,12,13,14	〃
4.	高齢者と社会	高齢者の社会学的特徴と疫学	高齢者社会の現状, 高齢者の全身と口腔の健康, 社会保障	1,2,3,4	伊藤
5.	〃	高齢者の精神医学, 心理学, 行動学	高齢者の心理・社会的背景, 加齢変化と心身相関, 高齢者との接し方, 精神疾患	1,10,14	羽田
6.	〃	高齢者の栄養学と口腔保健	高齢者の食生活と栄養, 高齢者歯科保健, 口腔保健管理, 要介護高齢者の歯科保健・医療	1,2,3,4,6	日野出
7.	〃	訪問歯科診療と福祉との連携, 介護保険	訪問歯科診療の現状, 連携医療, 高齢者医療に関する法律と仕組み, 介護予防	1,2,3,4,6,13,14	佐藤
8.	全身と口腔の加齢変化	加齢の生物学的基礎	加齢と老化, 老化遺伝子, テロメア	5,10,12	
9.	〃	加齢の生理学	加齢による生理学的変化	〃	久保

10.	”	加齢と免疫学	胸腺と老化, 免疫不全, 自己免疫	5,10,12,14	
11.	”	加齢と薬物	薬物動態・感受性・薬物相互作用, 高齢者の輸液・栄養管理, 服用薬剤の副作用	5,10,11,12,14	吉本
12.	”	諸器官の加齢変化	諸器官の形態的变化, 機能的変化	5,10,12	北村
13.	”	身体機能の加齢変化	日常生活動作 (ADL) の低下, 運動機能の低下, 感覚機能の低下	9,10	久保
14.	”	口腔領域の加齢変化	口腔領域の形態的变化, 機能的変化, 歯の喪失に伴う口腔, 顎, 顔面の変化	5,7,8,9,12	本釜
15.	高齢者と基礎疾患	高齢者に多い疾患とその対応(その1)	危機管理, バイタルサイン, 全身疾患を有する高齢者への対応, 歯科診療時の全身管理, 偶発症, 感染予防	7,8,9,10,11,14	北畑
16.	”	高齢者に多い疾患とその対応(その2)	高齢者に多い基礎疾患(高血圧, 糖尿病, 高脂血症, がん, 心疾患, 脳血管障害, 呼吸器疾患, 骨粗鬆症, 認知症, リウマチなど)	”	吉本
17.	”	高齢者の口腔に影響を及ぼす疾患	口唇・口腔粘膜に影響を及ぼす疾患, 口腔乾燥症	5,12,14	東
18.	高齢者の歯科診療	高齢者の診断と治療計画, 治療の基礎・基本手技	機能評価と治療方針, 治療環境, 患者の体位, コミュニケーション, チーム医療	1,5,7,8,9,12,13,14	市川
19.	”	高齢者の検体検査とその特徴	高齢者の検体検査値の特徴と治療時の注意	”	東
20.	”	保存修復治療	高齢者の齲蝕の特徴と治療, 非齲蝕性硬組織疾患の特徴, 高齢者の歯の変色・着色	5,12,13	松尾
21.	”	歯内・歯周治療	高齢者の歯髄・根尖性歯周組織疾患, 歯周疾患の特徴とその治療	”	永田
22.	”	有床義歯補綴治療	高齢者の補綴治療	”	永尾
23.	”	固定性補綴治療, 顎関節症	高齢者の補綴治療, 口腔機能障害の補綴的対応	”	”
24.	”	口腔内科, 外科的治療	口腔内科治療(口腔粘膜, 唾液腺の治療, 舌痛症), 口腔外科治療	”	東
25.	”	高齢者・有病者の口腔ケア	高齢者の口腔の状態, 口腔ケアの意義と実際	”	横山
26.	摂食・嚥下リハビリテーション	摂食・嚥下障害の基礎と検査法	リハビリテーションの概念	1,7,8,12,14	本釜
27.	”	中途障害の病態とリハビリテーションの現状(その1)	脳神経外科から見た脳卒中の現状, 中途障害者の現状, リハビリテーションの現状	”	七條
28.	”	中途障害の病態とリハビリテーションの現状(その2)	”	”	”

29.	”	摂食, 嚥下, 言語リハビリテーション(その1)	耳鼻咽喉科から見た摂食・嚥下障害, 言語障害とリハビリテーション	”	宇高
30.	”	摂食, 嚥下, 言語リハビリテーション(その2)	”	”	”

【成績評価】加齢歯科学について筆記試験を行い, 評価する。

テスト(100点満点)で60点以上を合格とする。出欠席状況も考慮する。

【再試験】行う

【教科書】参考書:渡邊 誠監訳:高齢者歯科学(永末書店)2000

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217266>

【連絡先】

⇒ 市川 (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 再生修復歯学部部門・顎口腔再建医学講座・口腔顎顔面補綴学分野教授室, 088-633-7346, ichi@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 林 (088-633-7327, hayashi@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 北村 (口腔顎顔面形態学分野教授室, 088-633-7319, kitamura@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 前後期:金曜日 12時~13時)

⇒ 吉本 (088-633-9123, yoshimot@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 伊藤 (088-633-7336, itohiro@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: (itohiro@dent.tokushima-u.ac.jp)/月・水・金 16:00~17:00/5F 予防歯学・教授室/633-7336))

⇒ 松尾 (0886337339, matsuo@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 永田 (088-633-7343, nagata@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 北畑 (088-633-7366, hiroshi@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 羽田 (0886622684, hada@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 日野出 (088-633-7543, hinode@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 永尾 (口腔顎顔面補綴学, 088-633-9129, kan@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 久保 (088-633-9171, kubo@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 東 (088-633-7351, azumasa@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 本釜 (hongama@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 横山 (徳島大学病院 口腔管理センター, 088-633-7970, yokomasa@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL